

第2部

マリキナ市調査

1. マリキナ市調査の単純集計

1) 回答者特性

回答者（n=1,000）の平均年齢は40.07歳で、平均家族人数は5.54人である。世帯主の職業としては、「常勤の勤め人」が85.2%と最も多い。また世帯収入は、「200,000ペソ未満」が31.1%と最も多い。

性別×年代

	合 計	男 性	女 性
合 計	1,000 (100)	390 (100)	610 (100)
20歳未満	66 (6.6)	28 (7.2)	38 (6.2)
20～29歳	238 (23.8)	101 (25.9)	137 (22.5)
30～39歳	209 (20.9)	72 (18.5)	137 (22.5)
40～49歳	205 (20.5)	73 (18.7)	132 (21.6)
50～59歳	150 (15.0)	57 (14.6)	93 (15.2)
60～69歳	96 (9.6)	44 (11.3)	52 (8.5)
70歳以上	36 (3.6)	15 (3.8)	21 (3.4)
平均年齢 (歳)	40.07	40.09	40.05

・家族人数の平均は5.54人である。

現在の家族人数

	合 計
合 計	1,000 (100)
単身世帯	45 (4.5)
2人	109 (10.9)
～4人	496 (49.6)
～6人	275 (27.5)
7人以上	275 (27.5)
平均(人数)	5.54

- ・世帯主の職業は「常勤の勤め人」が85.2%と最も多い。

世帯主の職業

	合 計
合 計	1,000 (100)
常勤の勤め人	852 (85.2)
パート	73 (7.3)
主婦	2 (0.2)
学生	4 (0.4)
無職・退職者	69 (6.9)

- ・世帯収入は「200,000ペソ未満」と答えた人が31.1%と最も多い。

世帯収入

	合 計
合 計	1,000 (100)
50,000ペソ未満	85 (8.5)
～100,000ペソ未満	208 (20.8)
～200,000ペソ未満	311 (31.1)
～300,000ペソ未満	129 (12.9)
～400,000ペソ未満	104 (10.4)
～500,000ペソ未満	51 (5.1)
～600,000ペソ未満	22 (2.2)
～700,000ペソ未満	32 (3.2)
～800,000ペソ未満	11 (1.1)
～900,000ペソ未満	7 (0.7)
～1,000,000ペソ未満	4 (0.4)
1,000,000ペソ以上	36 (3.6)

2) 調査結果要約

1. 地震発生の予測及びその影響予測についてのまとめ

該当：Q1～Q4

Q1. 危難の予測（13の危難）：「非常に大きい」のは？

- A 起こる可能性 → 「貧困」（32.5%）
- B 命と健康に及ぼす被害の程度 → 「貧困」（36.4%）
- C 経済的被害の程度 → 「失業・不況」（43.3%）
- D 恐ろしさの程度 → 「地震」（47.9%）

Q2. 最も恐ろしい危難 → 1位「暴力・犯罪・麻薬」（52.5%）
2位「地震」（51.5%）
3位「火事」（36.7%）

Q3. 個人の体験した危難 → 「地震」（68.2%）、「台風・強風」（59.4%）

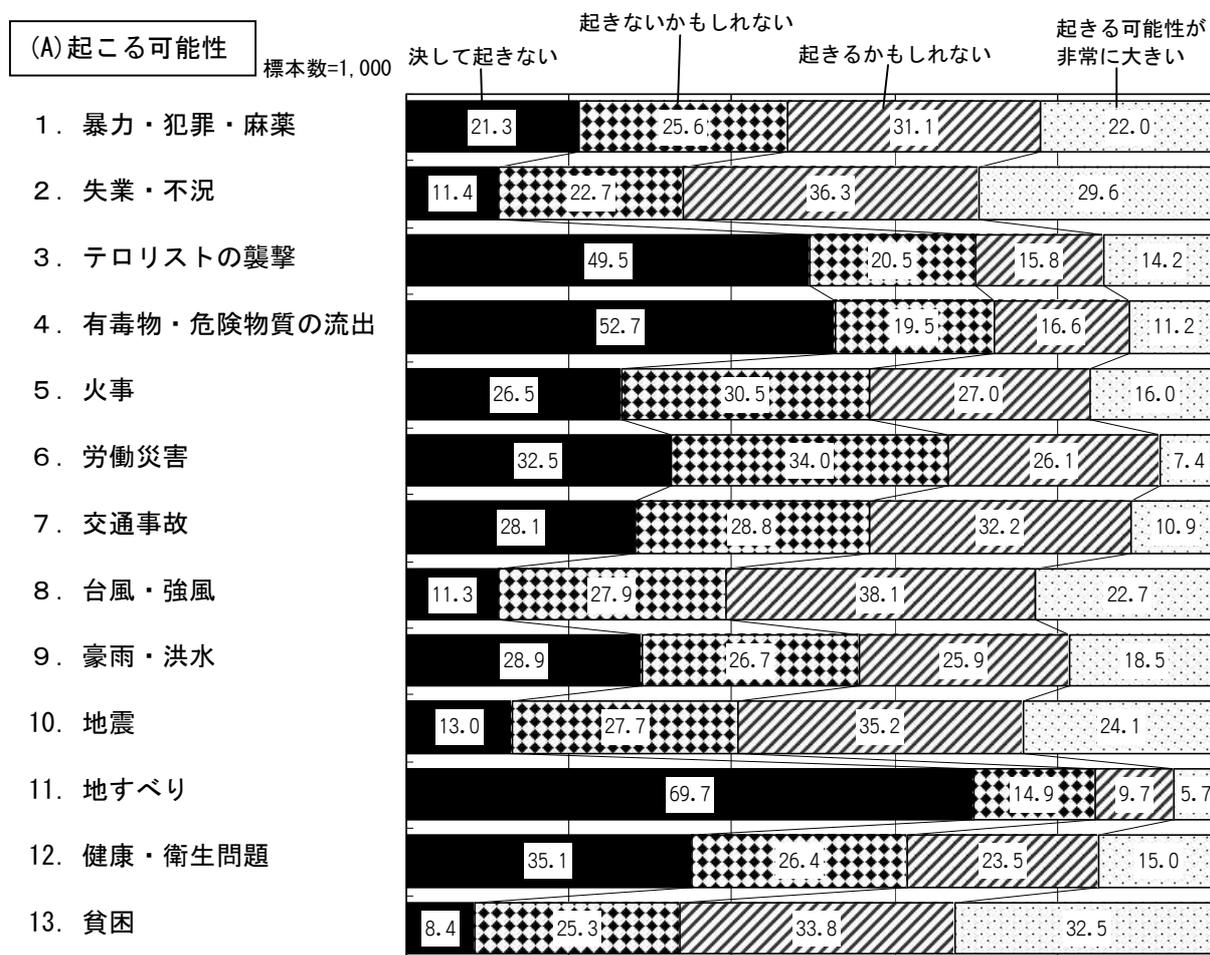
Q4. 地震に特定した場合

→ 「非常に大きい」

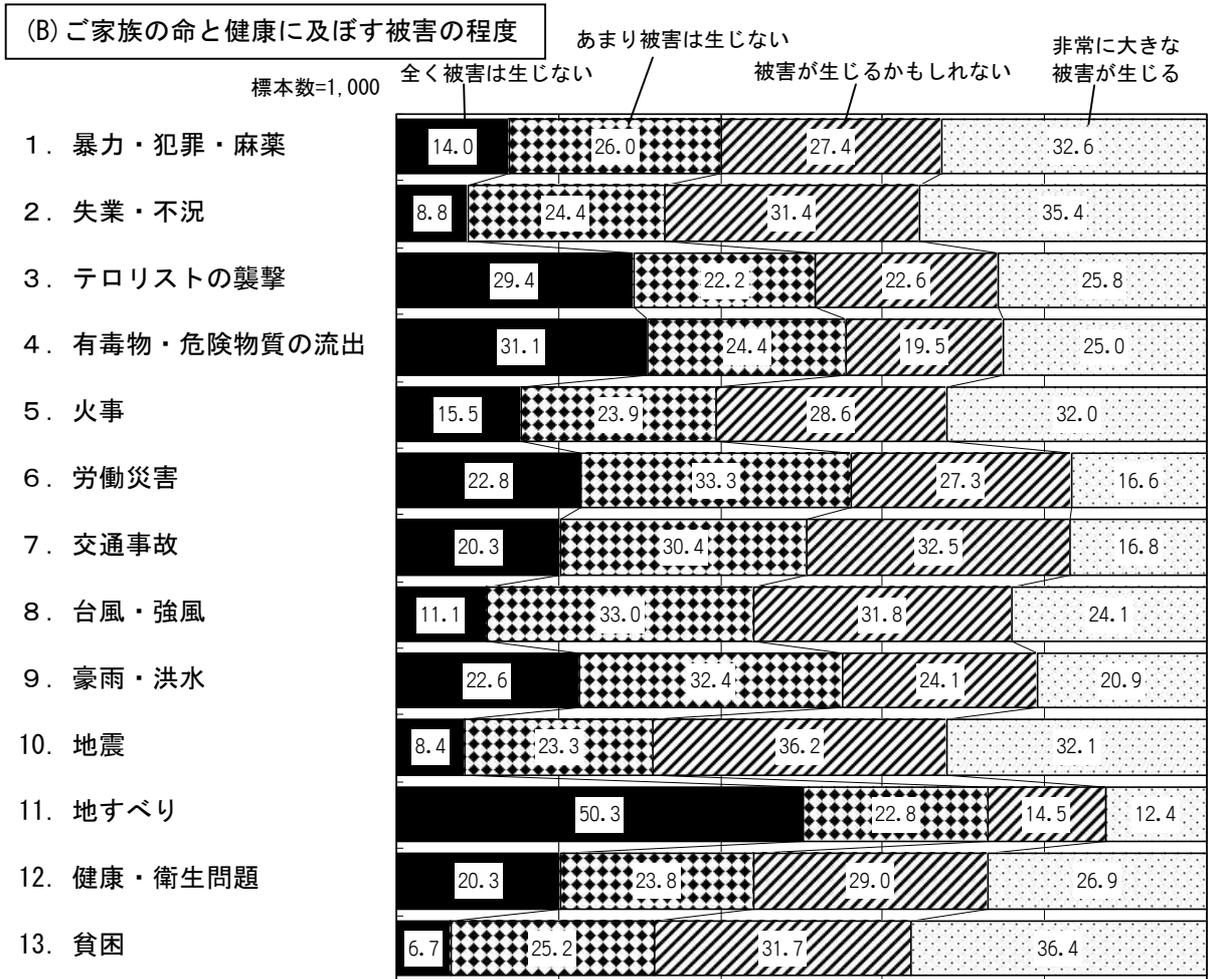
可能性	17.8%
命・健康への被害	28.6%
経済的被害	32.0%
家屋被害	28.2%
地域への影響	23.9%

・マリキナ市民は、「地震」よりも「貧困」、「失業・不況」の可能性を強く感じている。また、「地震」の可能性でも「非常に大きい」と考えている人は、2割以下で、「起こるかもしれない」と考えている人も5割に満たない。

1. 下記の1) から13) までの様々な危険に対する、(A)から(D)のそれぞれの設問について、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。

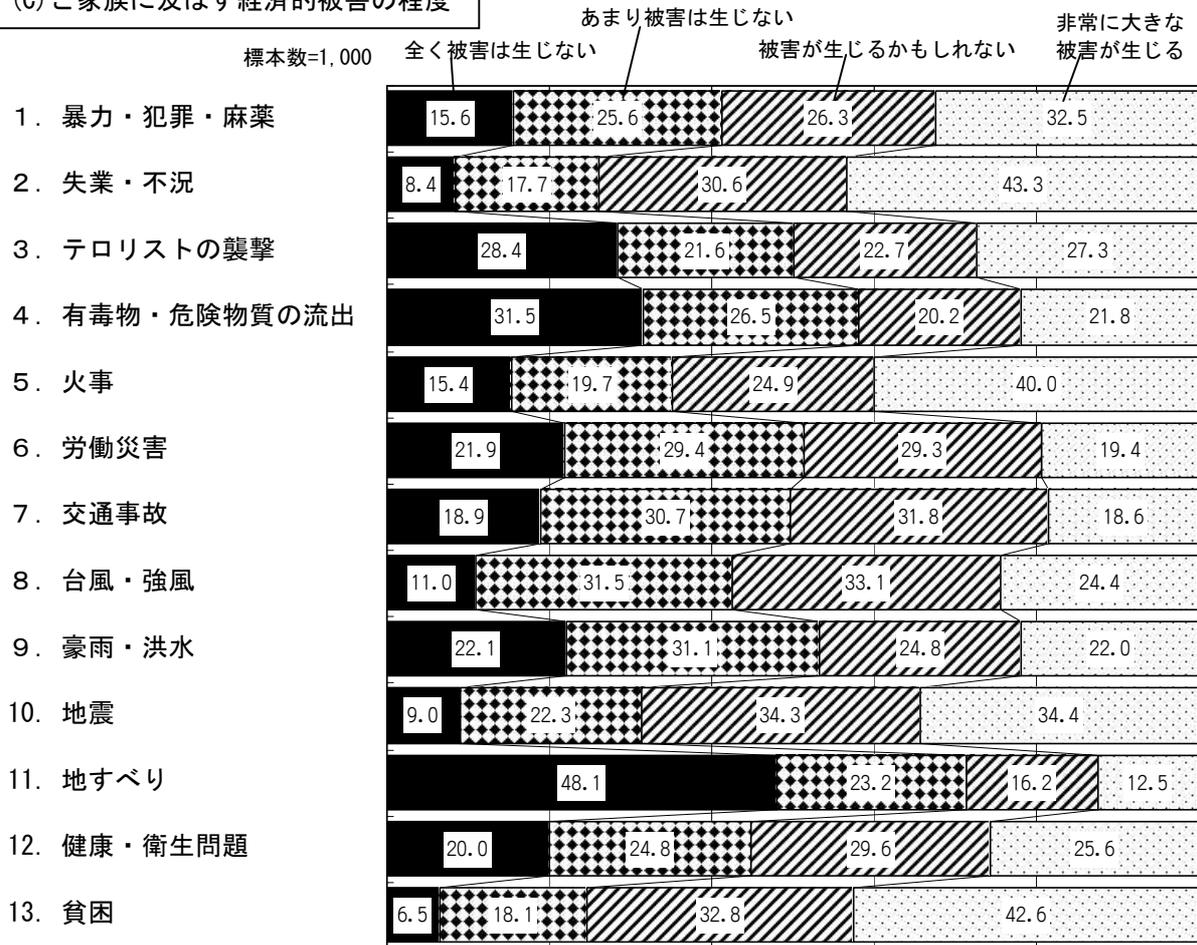


- ・回答者全員 (n=1,000 : 18歳以上のマリキナ市民、男女) に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13をあげ、それぞれについて“起こる可能性”の程度を4段階で尋ねた。
- ・その結果、「起きる可能性が非常に大きい」として、最も多くの人があげたのは「13. 貧困」(32.5%)、次いで「2. 失業・不況」(29.6%)である。
- ・「起きる可能性が非常に大きい」と「起きるかもしれない」を合わせた (<可能性がある>) で、最も多いのは「13. 貧困」(66.3%)、次いで「2. 失業・不況」(65.9%)、「8. 台風・強風」(60.8%)となっている。



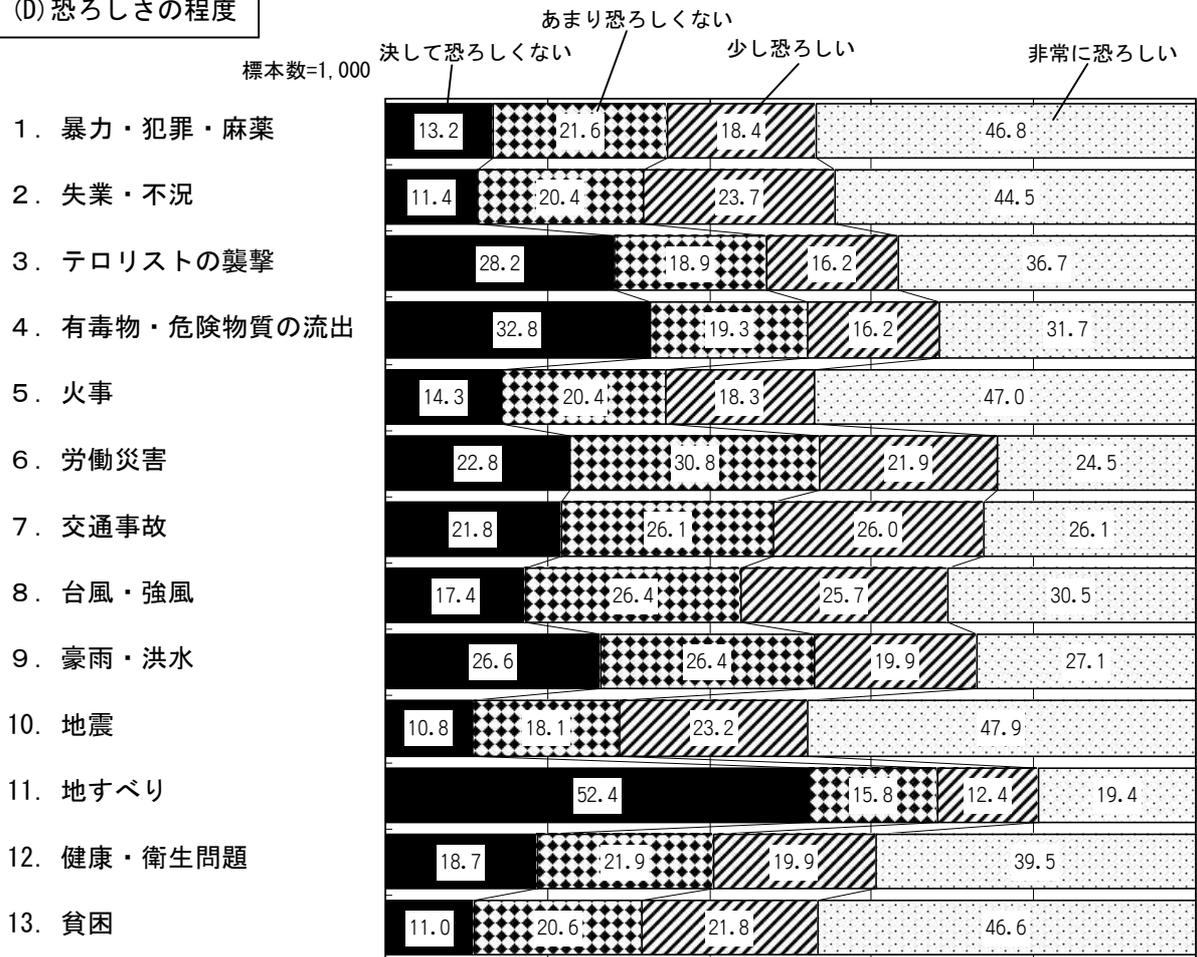
- ・回答者全員 (n=1,000 : 18歳以上のマリキナ市民、男女) に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13をあげ、それぞれについて“ご家族の命と健康に及ぼす被害”の程度を4段階で尋ねた。
- ・その結果、「非常に大きな被害が生じる」として、最も多くの人があげたのは「13. 貧困」(36.4%)、次いで「2. 失業・不況」(35.4%)、「1. 暴力・犯罪・麻薬」(32.6%)である。
- ・「非常に大きな被害が生じる」と「生じるかもしれない」を合わせた (<可能性がある>) で、最も多いのは「10. 地震」(68.3%)、次いで「13. 貧困」(68.1%)、「2. 失業・不況」(66.8%)となっている。

(C) ご家族に及ぼす経済的被害の程度



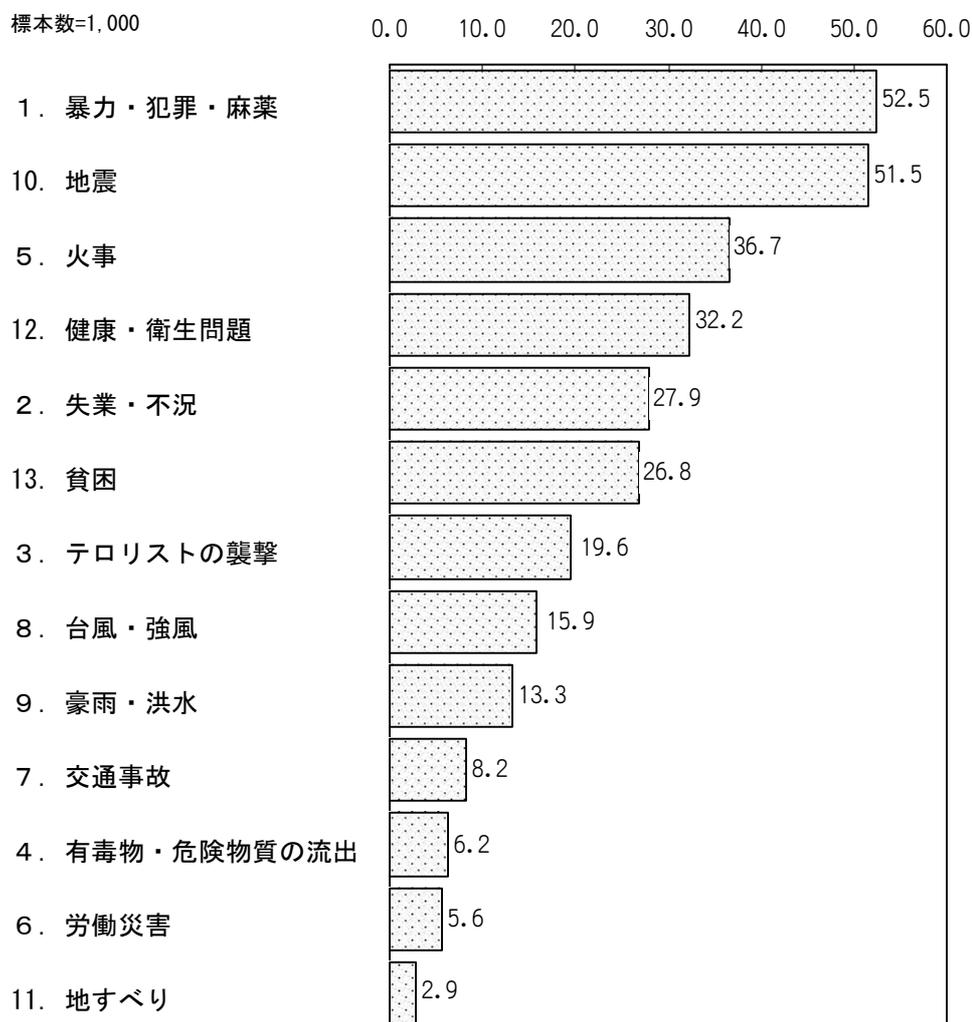
- ・回答者全員 (n=1,000 : 18歳以上のマリキナ市民、男女) に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13をあげ、それぞれについて“ご家族に及ぼす経済的被害”の程度を4段階で尋ねた。
- ・その結果、「非常に大きな被害が生じる」として、最も多くの人があげたのは「2. 失業・不況」(43.3%)、次いで「13. 貧困」(42.6%)、「5. 火事」(40.0%)である。
- ・「非常に大きな被害が生じる」と「生じるかもしれない」を合わせた (<可能性がある>) で、最も多いのは「13. 貧困」(75.4%)、次いで「2. 失業・不況」(73.9%)、「10. 地震」(68.7%)となっている。

(D) 恐ろしさの程度



- ・回答者全員 (n=1,000 : 18歳以上のマリキナ市民、男女) に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13をあげ、それぞれについて“恐ろしさ”の程度を4段階で尋ねた。
- ・その結果、「非常に恐ろしい」として、最も多くの人があげたのは「10. 地震」(47.9%)、次いで「5. 火事」(47.0%)、「1. 暴力・犯罪・麻薬」(46.8%)、「13. 貧困」(46.6%)である。
- ・「非常に恐ろしい」と「少し恐ろしい」を合わせた (<恐ろしい>) で、最も多いのは「10. 地震」(71.1%)、次いで「13. 貧困」(68.4%)、「2. 失業・不況」(68.2%)となっている。

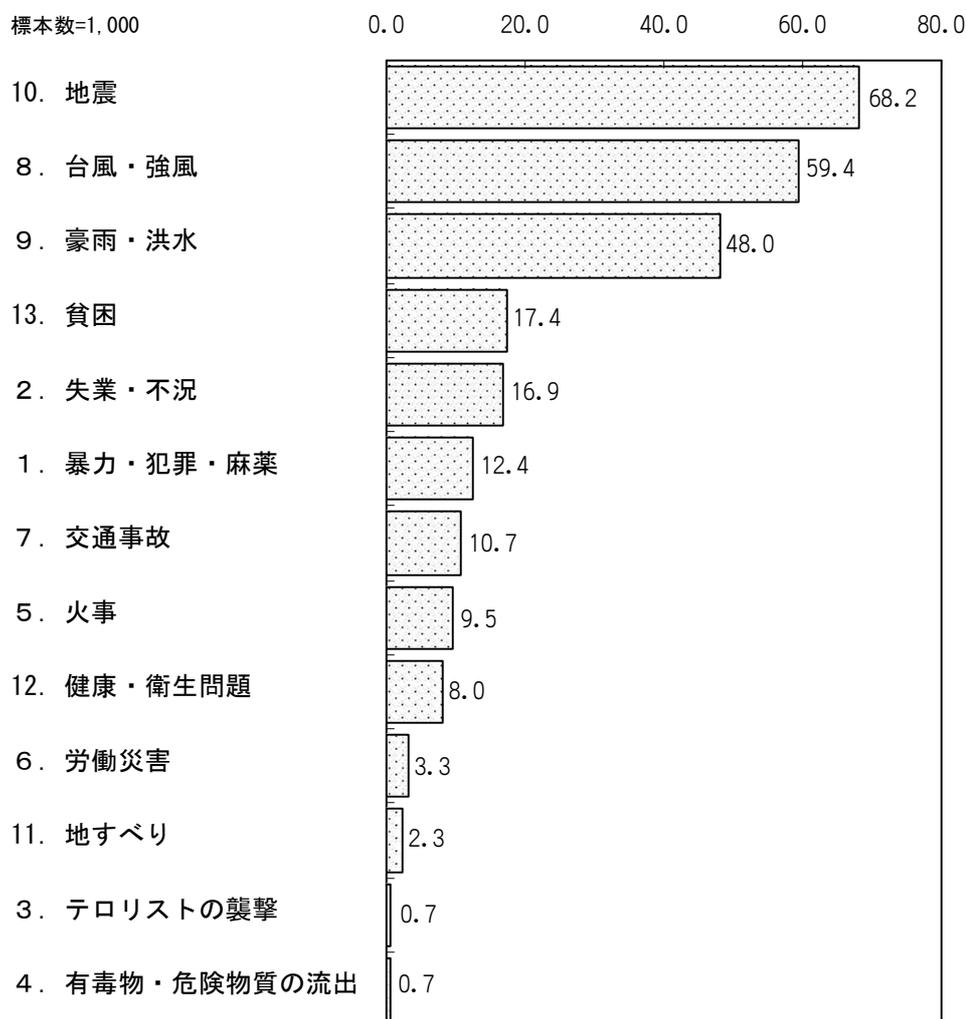
2. 上記1. の危険の種類の中で、最も恐ろしい3つは何ですか。番号をご記入ください。



- ・さらに回答者全員 (n=1,000) に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13について最も“恐ろしい”項目を3つまで選んでもらった。
- ・その結果、「非常に恐ろしい」として、最も多くの人があげたのは「1. 暴力・犯罪・麻薬」(52.5%)、次いで「10. 地震」(51.5%)、「5. 火事」(36.7%)である。
- ・性×年齢代でみると、1位にあがった項目は以下のとおりである。
- ・1位にあがった項目は、男性で20代と70以上が「10. 地震」である以外は「1. 暴力・犯罪・麻薬」であるが、女性は40未満が「1. 暴力・犯罪・麻薬」であるのに対し、40以上は「10. 地震」である。

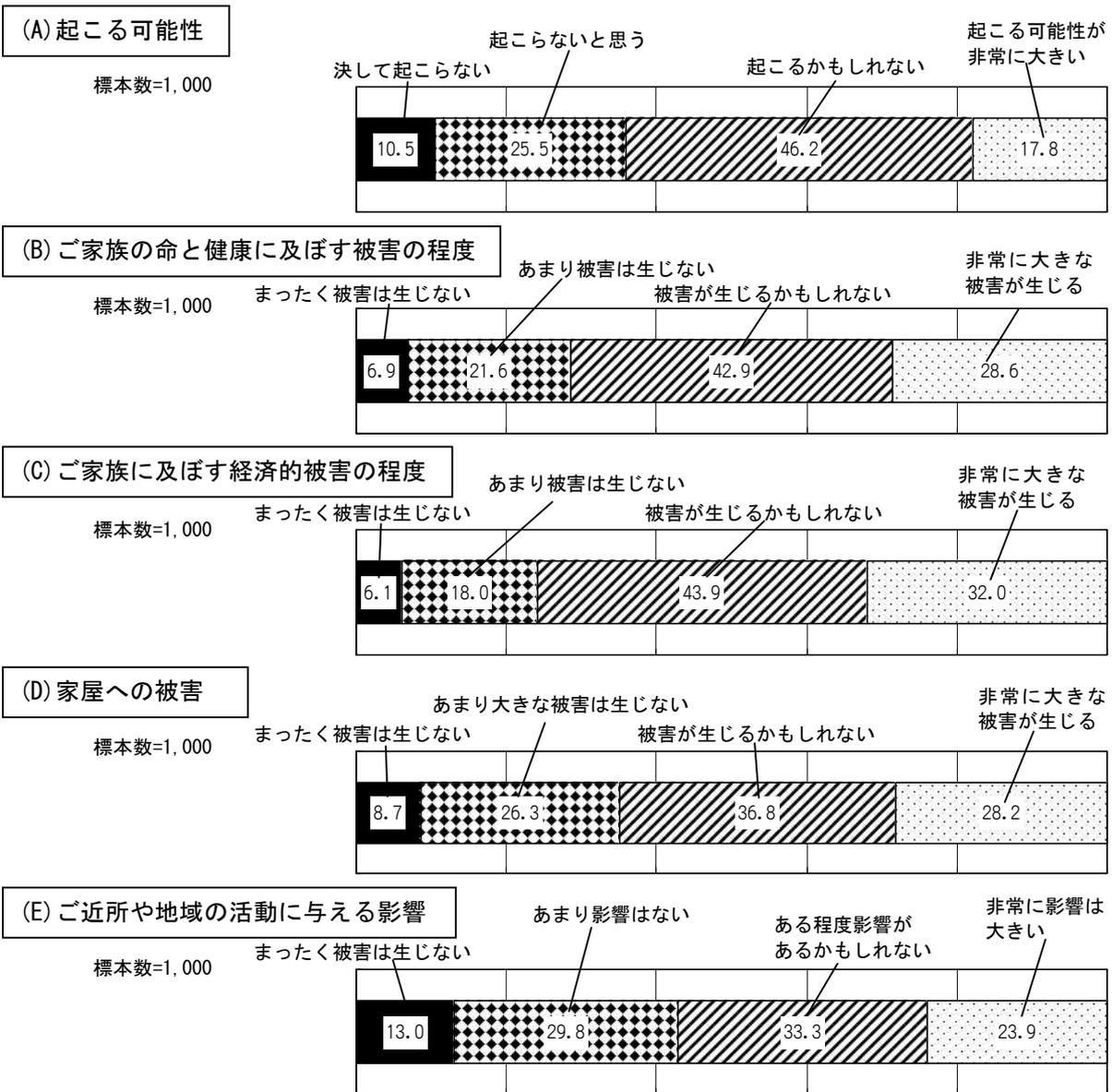
男性	20歳未満	暴力・犯罪・麻薬 (50.0%)	女性	20歳未満	暴力・犯罪・麻薬 (57.9%)
	20代	地震 (52.4%)		20代	暴力・犯罪・麻薬 (54.0%)
	30代	暴力・犯罪・麻薬 (55.6%)		30代	暴力・犯罪・麻薬 (51.8%)
	40代	暴力・犯罪・麻薬 (57.5%)		40代	地震 (55.3%)
	50代	暴力・犯罪・麻薬 (61.4%)		50代	地震 (52.7%)
	60代	暴力・犯罪・麻薬 (63.6%)		60代	地震 (75.0%)
	70以上	地震 (52.4%)		70以上	地震 (66.7%)

3. 上記1. の1) から13) の中で過去にあなたが個人的に経験したのはどれですか。該当するものの番号をすべてお書きください。



- ・回答者全員 (n=1,000) に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13のうち自分で体験した項目をあげてもらった。
- ・その結果、最も多くの人あげたのは「10. 地震」(68.2%)、次いで「8. 台風・強風」(59.4%)、「9. 豪雨・洪水」(48.0%)である。

4. 1990年のマリキナ市の地震と同じか、それよりも揺れの大きい地震に、今後みまわれると思いますか。また、もし、起きた場合、あなたのお住まいの地域への影響はどのようなものでしょうか。(A)から(D)のそれぞれの設問について、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。



- ・ 回答者全員 (n=1,000) に、1990年にマリキナ市で起こった地震と同等もしくは大きな地震が今後起こると思うかどうかの可能性や被害予測を5項目についてそれぞれ尋ねた。
- ・ その結果、「(A) 起こる可能性」は「非常に大きい」が17.8%、続いて「(B) 後家族の命と健康に及ぼす被害」では、「非常に大きな被害が生じる」が28.6%、「(C) ご家族に及ぼす経済的被害」では、「非常に大きな被害が生じる」が32.0%、「(D) 家屋への被害」では、「非常に大きな被害が生じる」が28.2%、「(E) ご近所や地域の活動に与える影響」では「非常に影響が大きい」が23.9%という結果になった。

2. 地震に関する知識についてのまとめ

該当：Q5～Q10

Q5. 地震が発生する原因 → 「活断層が動くため」(47.6%)

Q6. → 住まいの近くにある活断層等を知っている人は85.4%

Q7. → 具体的には、わからないと答えた人が27.2%

Q8. → 震災情報源は「テレビ」(42.4%)

Q9. → 地震が起こす事象については、「地盤の液状化」以外は過半数が知っている。

Q10. → マリキナ市に近い地震には75.1%が「恐怖を感じる」。

- ・マリキナ市民は、8割以上の人が住まいの近くの活断層等の存在を知っているが、具体的には、わからない人が3割近くいる。

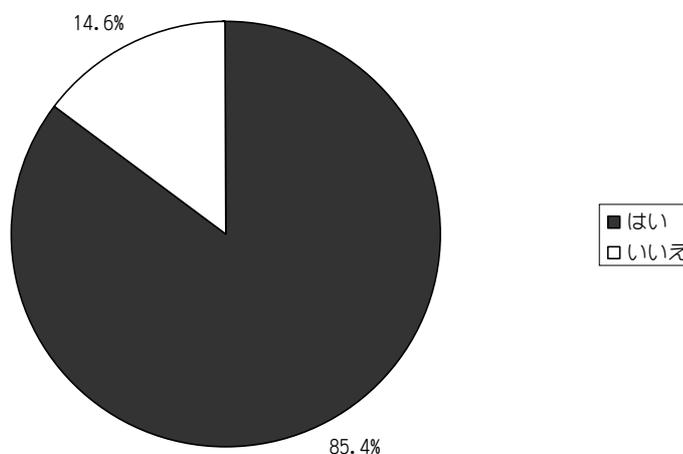
5. 地震が何故発生するのか、その原因について、あなたのお考えに最もあてはまると思う回答に○をつけてください。

標本数=999

多い順	活断層が動くため	47.6%
	神のしわざ	23.0%
	火山活動のため	11.3%
	気象現象	8.4%
	地盤の沈下のため	4.4%

6. あなたがお住まいの地域の近くにある活断層や地盤の弱い地域・プレート境界を知っていますか。

標本数=1,000



7. 活断層・地盤の弱い地域・プレート境界の位置をご存じならば、具体的に教えてください。

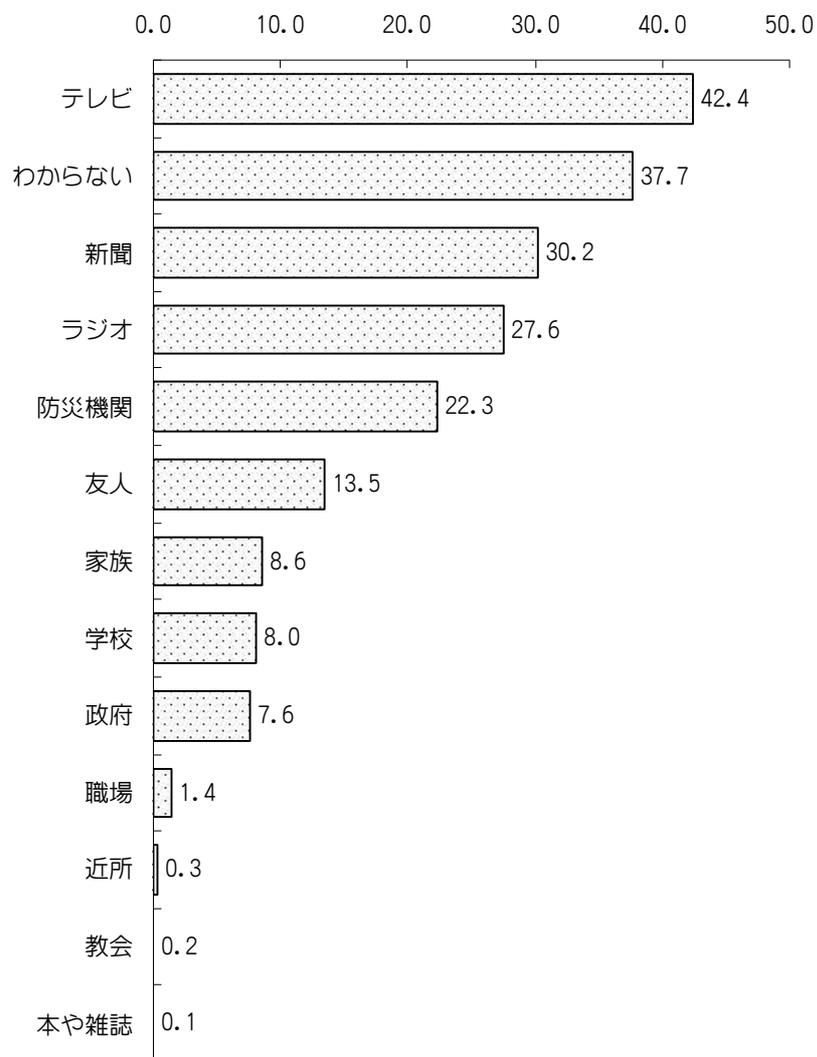
標本数=854

多い順	わからない	27.2%	Marikina City	15.2%
	Montalban	10.2%	Marikina river	9.5%
	San Mateo	7.5%	IVC	3.2%
	Barangka	2.8%	Quezon City	2.8%
	Loyola Grand Villas	2.0%	Rizal	1.8%
	Ateneo	1.4%	Marikina Valley	1.3%
	Katipunan	1.3%	Parang	1.2%

8. あなたのお住まいの地域に影響を及ぼす地震に関する情報源についてお伺いします。

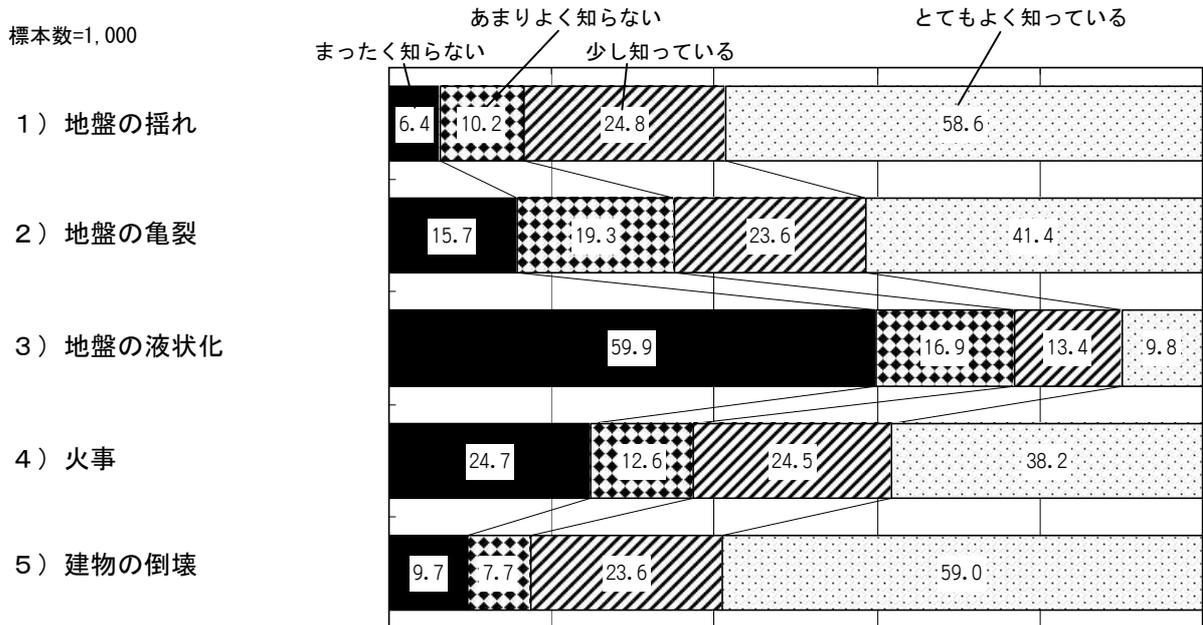
どのようにして震源の情報を知りましたか。以下の情報媒体について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

標本数=1,000



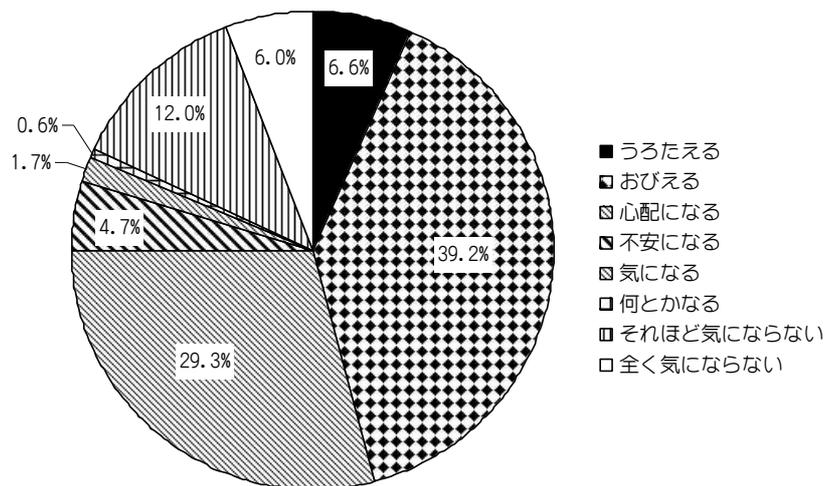
- ・回答者全員 (n=1,000) に、震災情報の情報源を尋ねた。最も多くの方があげたのは「テレビ」(42.4%)、次いで「わからない」(37.7%) であるが、以下は「新聞」(30.2%)、「ラジオ」(27.6%) となっている。

9. 大きな地震がもたらす危険について、どの程度ご存じですか。それぞれの項目についてあてはまる数字を一つ選んで○をつけてください。



・回答者全員 (n=1,000) に、地震に伴う事象5項目をあげ、それぞれについての知識程度を尋ねた。その結果、「3) 地盤の液状化」以外は「とてもよく知っている」と「少し知っている」を合わせると過半数を超えた。「とてもよく知っている」と答えた人が最も多かったのは「5) 建物の倒壊」(59.0%)である。

10. 大きな被害をマリキナ市にもたらすと予測される複数の地震源が存在します。このことについて、あなたはどうお感じになりますか。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。



・回答者全員 (n=1,000) に、地震源の存在に対する恐怖感の程度を尋ねた。その結果「うろたえる」人は6.6%、「おびえる」人は39.2%、「心配になる」人は29.3%で、＜恐怖を感じる＞人は75.1%と4人に3人を占めた。また＜気にならない＞という人は18.0%で、82.0%の人が＜怖い・気になる＞と答えた。

3. 地震に対するそなえについてのまとめ

該当：Q11～Q14

Q11. マリキナ市に起こる可能性 → 60%を超えるのは「20年以内」

地震がもし起こったら

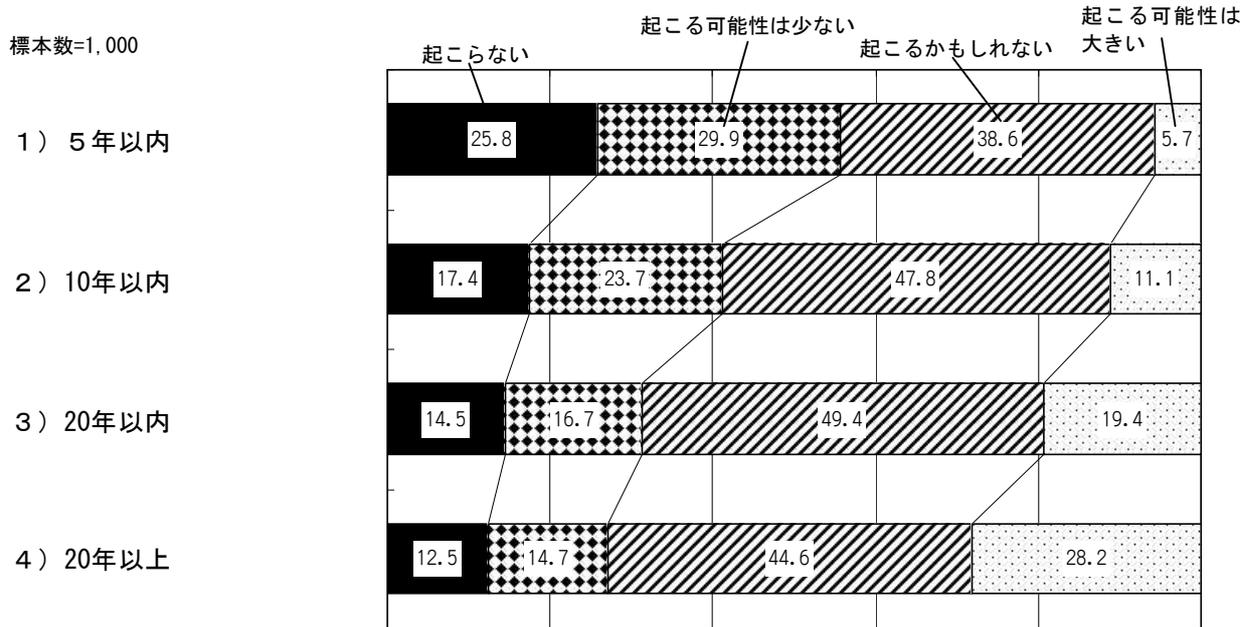
Q12. 昼間なら、1位「外へ出る」、2位「祈る」

Q13. 夜間なら、1位「外へ出る」、2位「祈る」

Q14. すでに行った「そなえ」は → 「救急用品を用意した」(66.7%)

- ・地震が起こる可能性は「20年以内」である。
- ・地震がもし起こったら、昼夜を問わず「外へ出る」で、「救急用品を用意した」人が6割を超えている。

11. マリキナ市が大きな地震災害を受ける可能性は今後どの程度あるとお考えですか。それぞれの設問について、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。



・回答者全員 (n=1,000) に、マリキナ市が再び大きな地震災害に見舞われる可能性を年数ごとに尋ねた。その結果、「起らない可能性は大きい」が20%を超えるのは「20年以上」(28.2%)で「起らない可能性は大きい」と「起らないかもしれない」を合わせた可能性が60%を超えるのは「20年以内」(68.8%)である。

12. もし強い地震が昼間に起きたら、あなたはどんな行動や反応をしますか。あなたがするであろう行動や反応をご自由にお書きください。

標本数=1,000

多い順 外へ出る 463
 祈る 160
 避難所へ行く 144
 家族の安否確認 127 安全な場所へ避難する 109

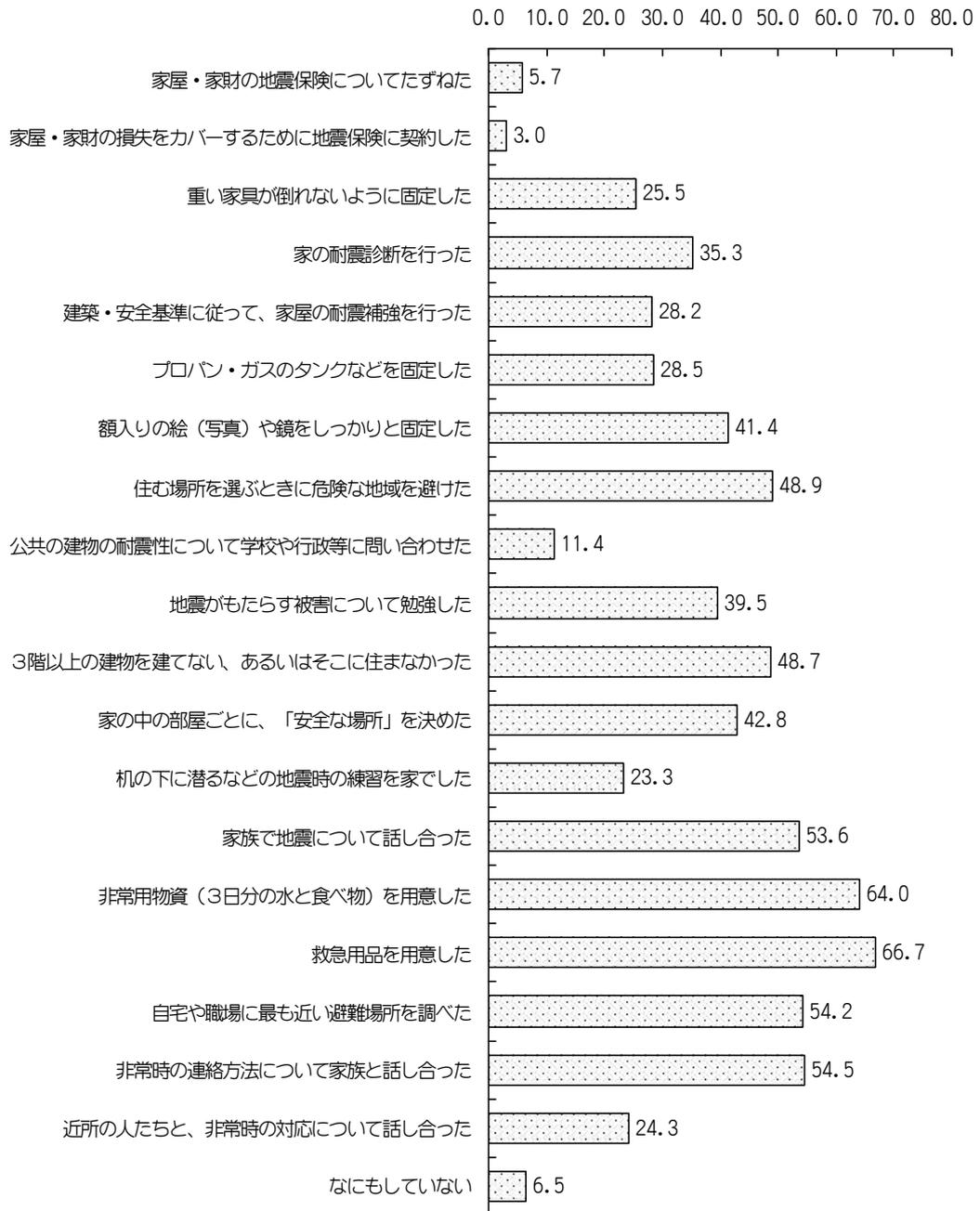
13. もし強い地震が夜間に起きたら、あなたはどんな行動や反応をしますか。あなたがするであろう行動や反応をご自由にお書きください。

標本数=1,000

多い順 外へ出る 391
 祈る 181
 避難所へ行く 153
 家族の安否確認 134 家にいる 134

14. 次に挙げるのは、強い地震によって起こり得る被害を回避したり、軽減するために、あなたが取りうる対策のリストです。全部で20の項目をあげていますが、これらのなかであなたがすでに実施したものはどれですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

標本数=1,000



- ・回答者全員 (n=1,000) に、地震に備えてすでに行った「そなえ」を20項目の中からあげてもらった。
- ・その結果、最も多くの人があげたのは「救急用品を用意した」(66.7%)、次いで「非常用物資(3日分の水と食べ物)を用意した」(64.0%)が続く。

4. 資料提示後の被害想定についてのまとめ

該当：Q15～Q17

<活断層の位置や震度想定を提示した後で改めて質問した>

Q15. マリキナ市に起こる可能性

→ (Q11との比較) 6割を超えるのは「10年以内」(66.6%)

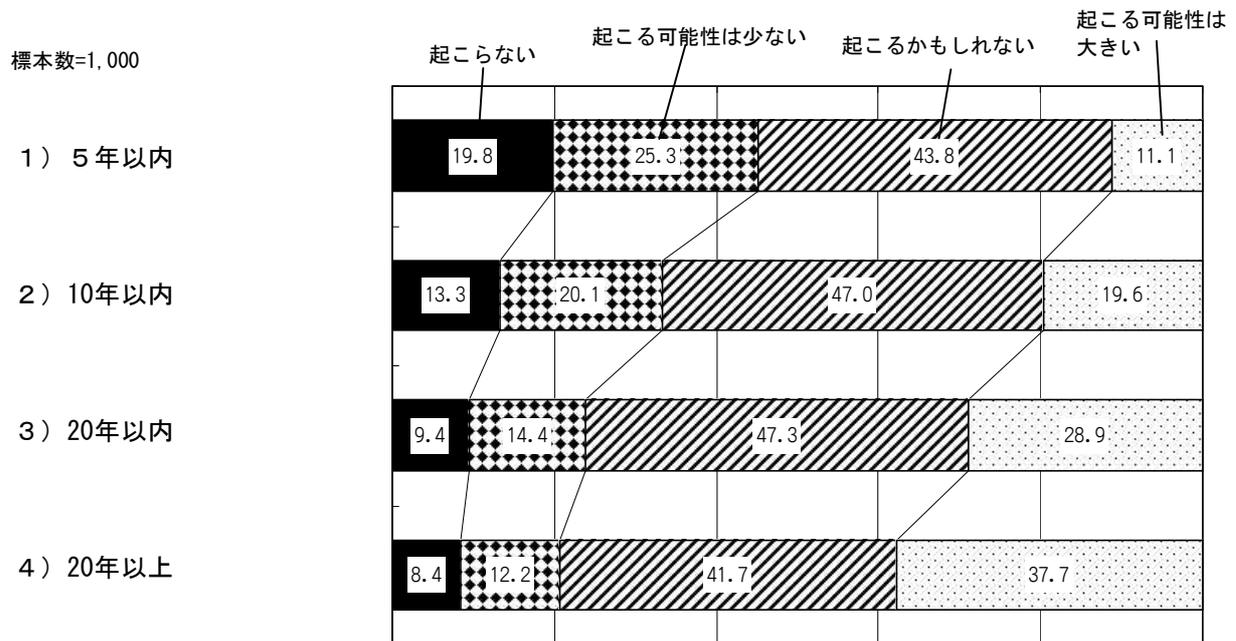
Q16. 起こる可能性・被害予想

→ (Q4と比較すると) 全体的に悲観的になる。

Q17. これから「そなえ」 → (Q14と比較すると) やはり「救急用品を用意する」(71.0%)

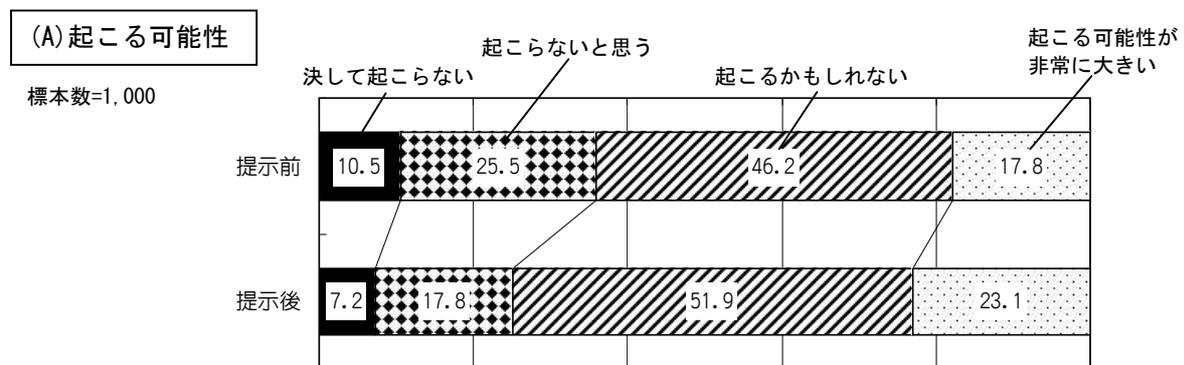
・活断層の位置や震度予想などを提示すると、意識態度は、悲観的になる傾向が見られる。

15. マリキナ市が大きな地震災害に見舞われる可能性は今後どの程度あるとお考えですか。それぞれの項目について、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。



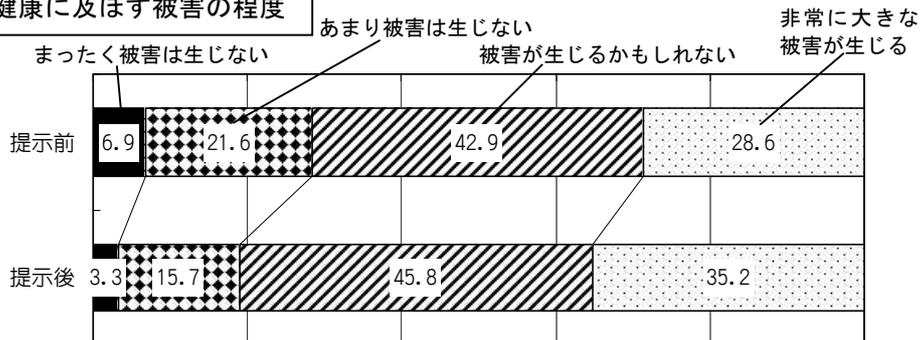
・マリキナ市で1990年に起きた地震の様子などを提示した後で改めて回答者全員 (n=1,000) に、マリキナ市が再び大きな地震に見舞われる可能性を年数ごとに尋ねた。その結果、「起こる可能性が大きい」が20%を超えるのは、「20年以内」(28.9%) となり、「起こる可能性は大きい」と「起こるかもしれない」を合わせた可能性が60%を超えるのは「10年以内」(66.6%) でともに10年早くなっている。

16. 1990年のマリキナ市の地震と同じか、それよりも揺れの大きい地震に、今後みまわれると思いますか。また、もし、起きた場合、あなたのお住まいの地域への影響はどのようなものでしょうか。(A)から(D)のそれぞれの設問について、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。



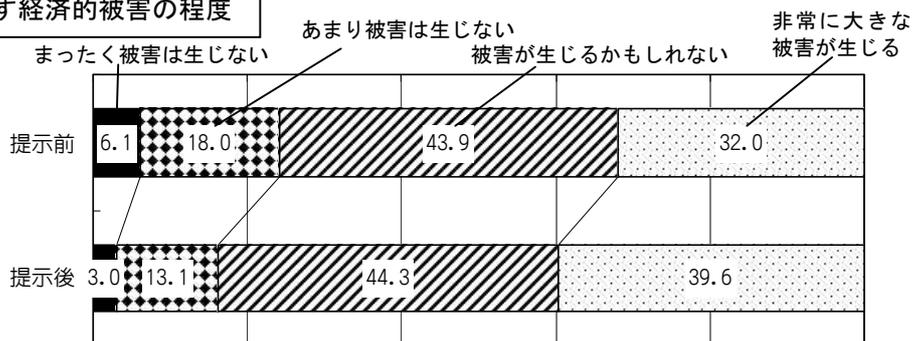
(B) ご家族の命と健康に及ぼす被害の程度

標本数=1,000



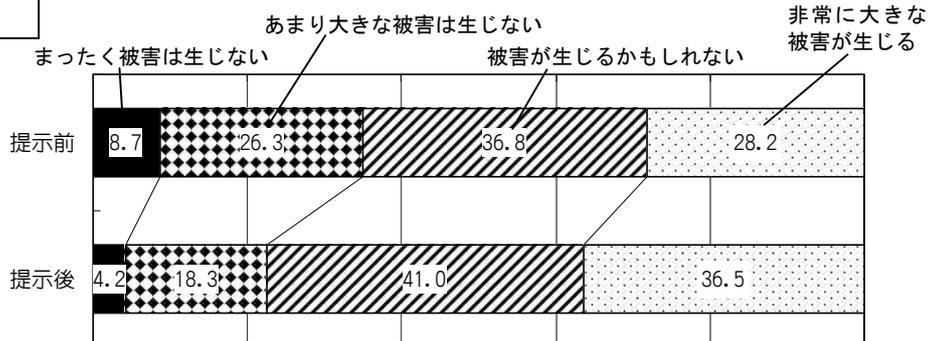
(C) ご家族に及ぼす経済的被害の程度

標本数=1,000



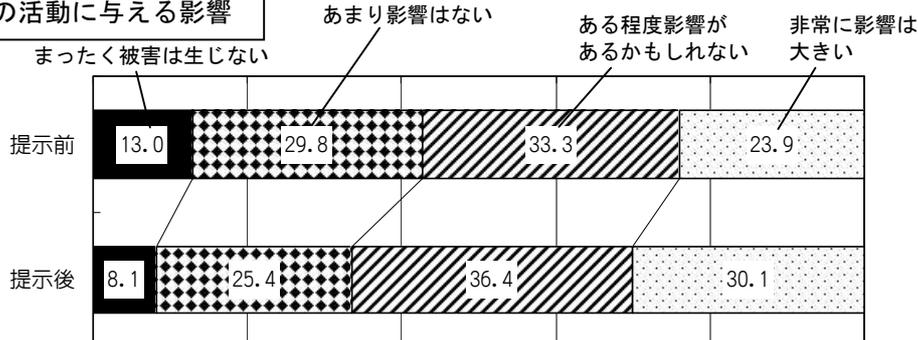
(D) 家屋への被害

標本数=1,000



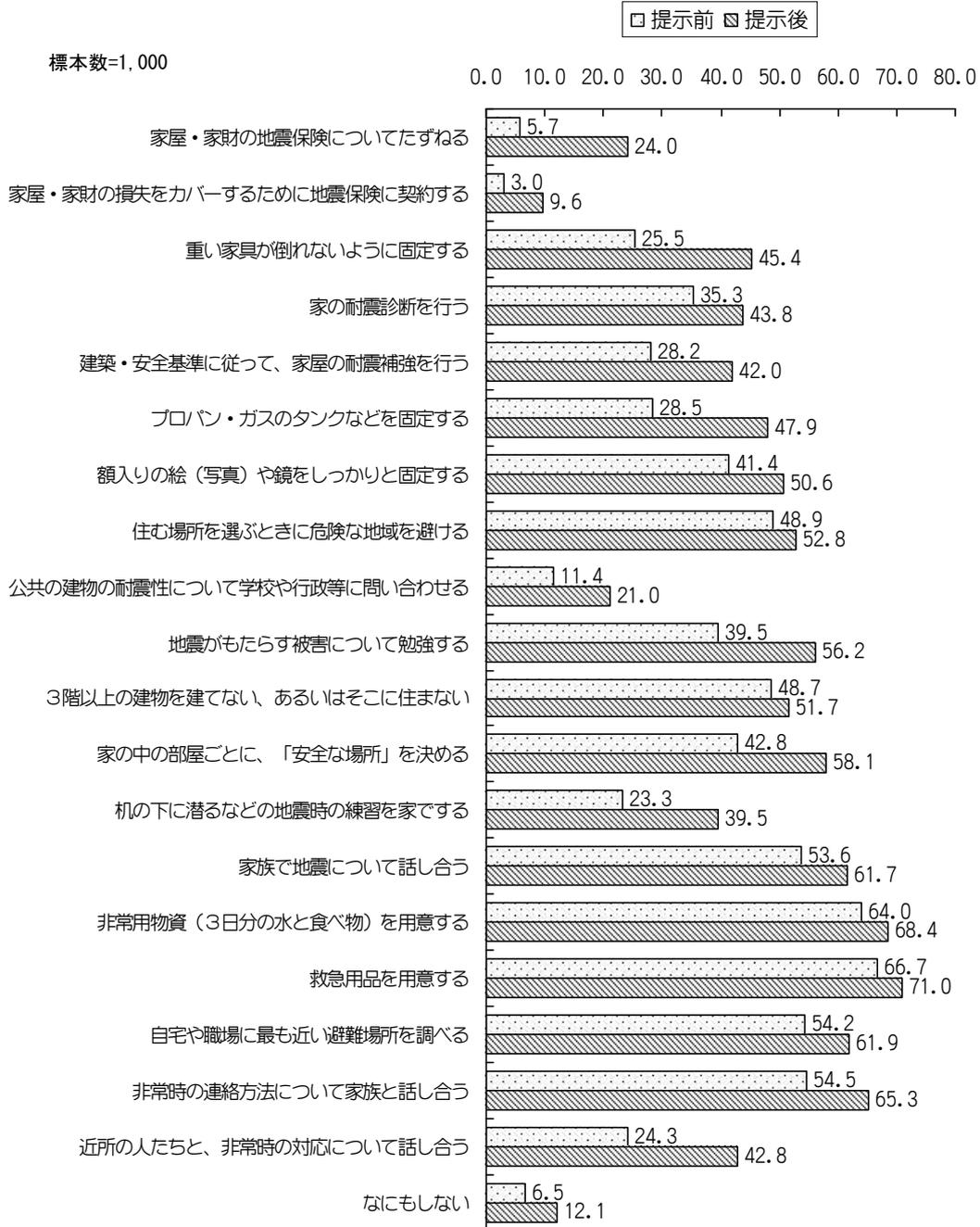
(E) ご近所や地域の活動に与える影響

標本数=1,000



- ・改めて回答者全員 (n=1,000) に、1990年にマリキナ市で起きた地震と同等もしくは大きな地震が今後起こると思うかどうかの可能性や被害予測を5項目についてそれぞれ尋ねた。
- ・その結果、5項目とも「非常に大きい・非常に大きな被害が生じる」が5.3%~8.3%多くなった。また「かもしれない」を合わせたものも5項目とも8.0%~12.5%多くなった。

17. 次に挙げるのは、強い地震によって起こり得る被害を回避したり、軽減するために、あなたが取りうる対策のリストです。全部で20の項目をあげていますが、これらのなかであなたがすでに実施したものはどれですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



Q14（すでにしたこと）との比較（Q17はこれからしようと思うこと）

- ・ 回答者全員（n=1,000）に、活断層図や震度想定を提示した後で、改めて地震に備えて行おうと思う「そなえ」を20項目の中からあげてもらった。
- ・ その結果、最も多くの人があげたのは「救急用品を用意する」（71.0%）、次いで「非常用物資（3日分の水と食べ物）を用意する」（68.4%）である。
- ・ Q14と比較するとどの項目もしようと思っている人が増えている。

5. 地震が起きたと想定したときの意識態度のまとめ

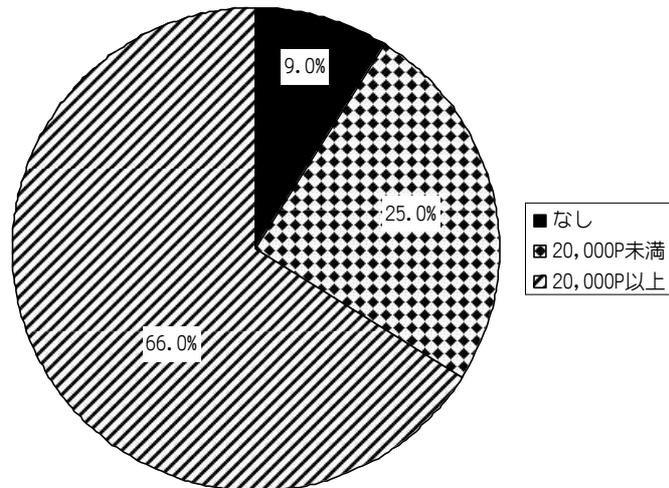
該当：Q18～Q24

- Q18. 被害額の想定 → 「20,000ペソ以上」と答えた人が6割以上
- Q19. 頼りになる組織・機関・個人 → 1位「家族・友人・親戚」(80.1%)
2位「連合自治会」(65.7%)
- Q20. 支援の予想 → 1位「家族・友人・親戚」(95.6%)
2位「連合自治会」(90.5%)
- Q21A. 機能が停止する施設 → 1位「電気」(90.2%)
2位「電話」、「個人住宅(集合住宅)」(85.1%)
- Q22. 守るべき施設 → 1位「病院・診療所」(59.8%)
2位「水道」(41.6%)
3位「電気」(32.9%)
- Q21B. 機能の継続が重要な施設 → 1位「病院・診療所」(84.1%)
2位「水道」(82.2%)
3位「主要幹線道路」(77.0%)
- Q23. 備えのために出せる金額は、「50,000ペソ以下」(55.4%)
時間は、「180時間程度」
人数は、「2人以下」(53.4%)
- Q24. 信頼しているのは「家族と親戚」(54.4%)

- ・ 支援者として予想、信頼しているのは「家族・友人・親戚」、「連合自治会」。
- ・ 守るべき施設は、「病院・診療所」、「水道」

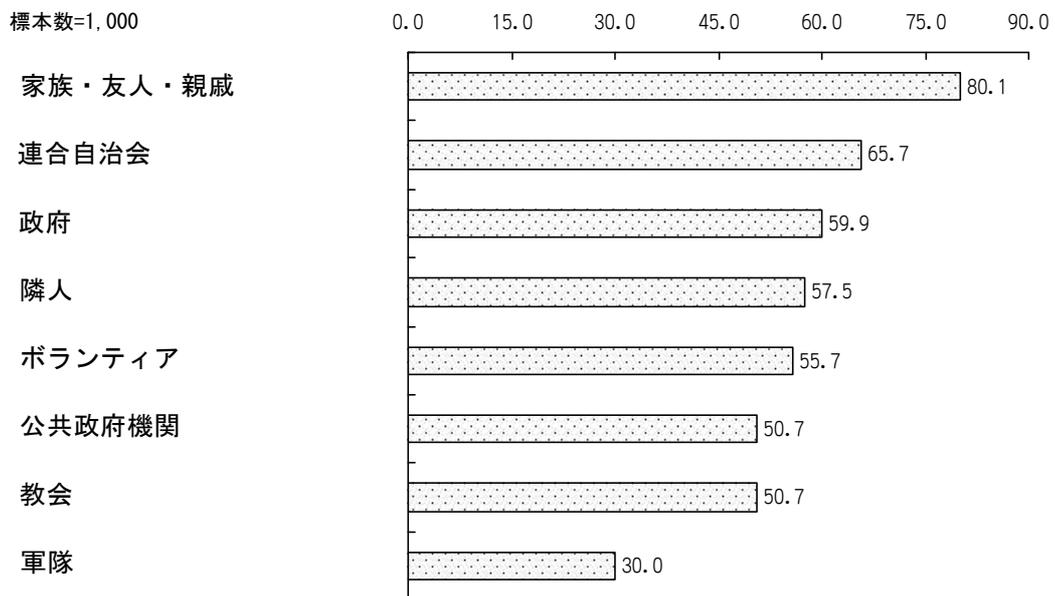
18. マリキナ市で強い地震が起こったら、あなたの家の被害額はおよそいくら位だと予想しますか。

標本数=1,000



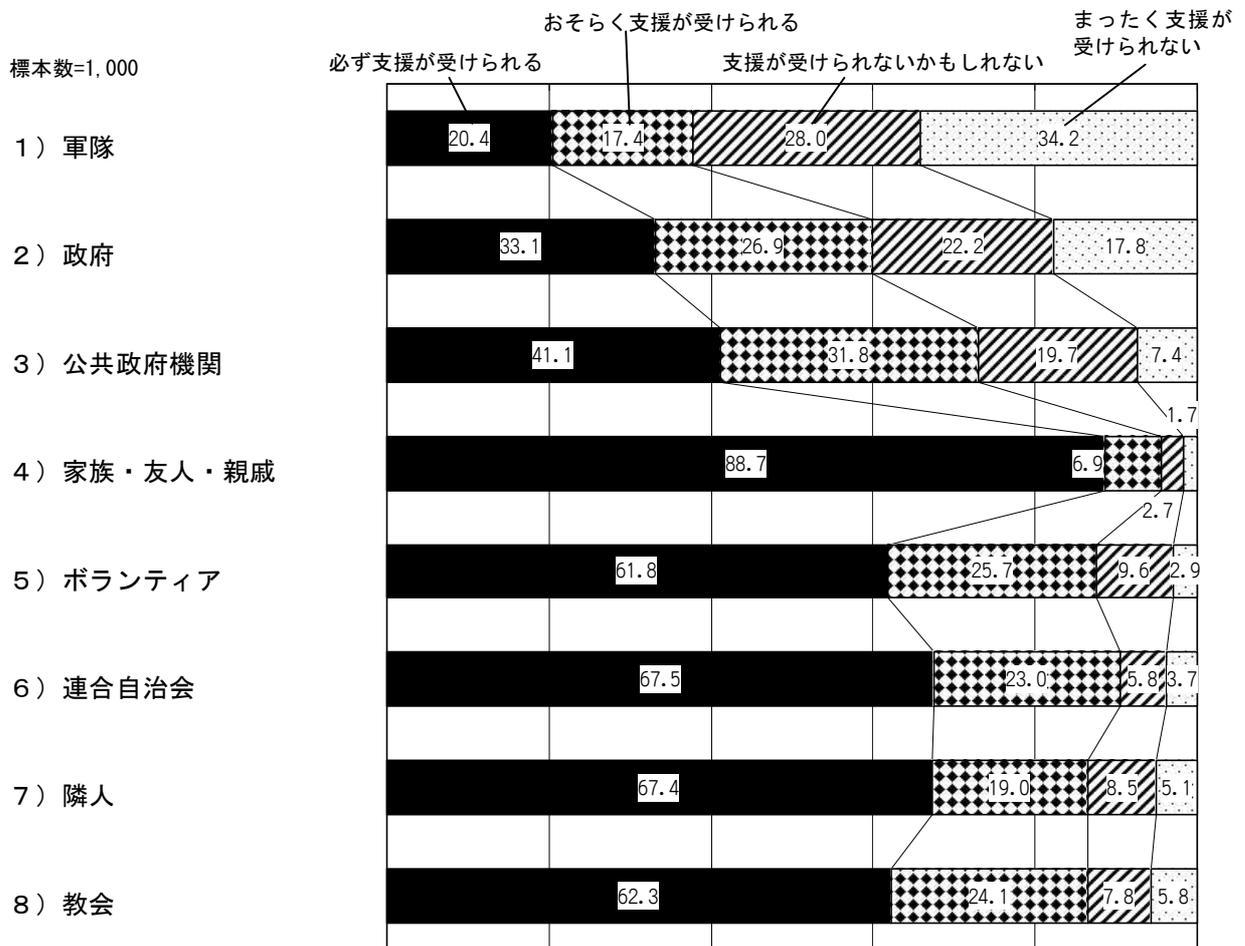
・回答者全員 (n=1,000) の結果「20,000ペソ以上」が66.0%と最も多かったが、「20,000ペソ未満」も25.0%いた。

19. あなたのお考えでは、強い地震が起きたらどのような組織や機関、人びとがあなたを心配して救援に来てくれると思いますか。以下の1)から8)のうち、あなたを心配してくれると思う組織や機関ないし人びとすべてに○をつけて下さい。



・回答者全員 (n=1,000) に、地震が起こった場合の救援者を想定してもらった。その結果、最も多くの人があげたのは「家族・友人・親戚」(80.1%)、次いで「連合自治会」(65.7%)であった。

20. 上記19. の1) から8) の組織・機関や人びとに救援を要請しても、法律上や社会的な理由から、実際には支援が受けられない可能性はどの程度あるとお考えですか。あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。

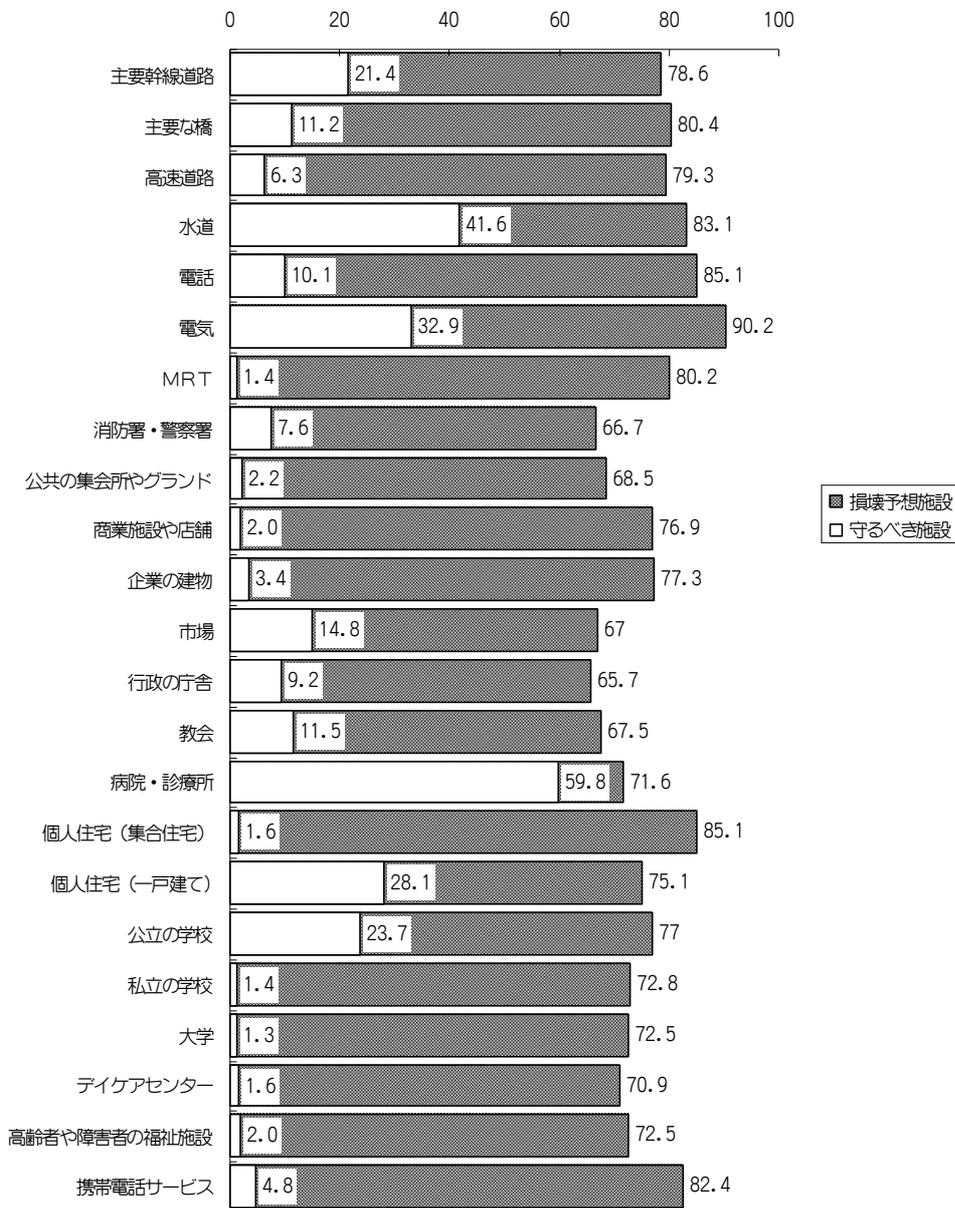


- ・回答者全員 (n=1,000) に、地震が起こった場合の救援者として支援が受けられないかもしれないと考えている組織・機関などを8つあげ、それぞれについて支援が受けられるかどうか尋ねた。
- ・その結果、「まったく支援が受けられない」及び「支援が受けられないかもしれない」と予想した人が最も多かったのは「1) 軍隊」(62.2%)、次いで「2) 政府」(40.0%)となっている。
- ・逆に「必ず支援が受けられる」及び「おそらく支援が受けられる」と予想した人が最も多かったのは「4) 家族・友人・親戚」(95.6%)、次いで「6) 連合自治会」(90.5%)、5)「ボランティア」(87.5%)となっている。

21. 強い地震が起こるとさまざまな構造物・機能に被害が発生します。次の1)から24)それぞれの構造物や施設、機能などについて、

(A)強い地震で壊れ、機能が停止すると思う場合には、該当する項目の()欄に○をつけてください。

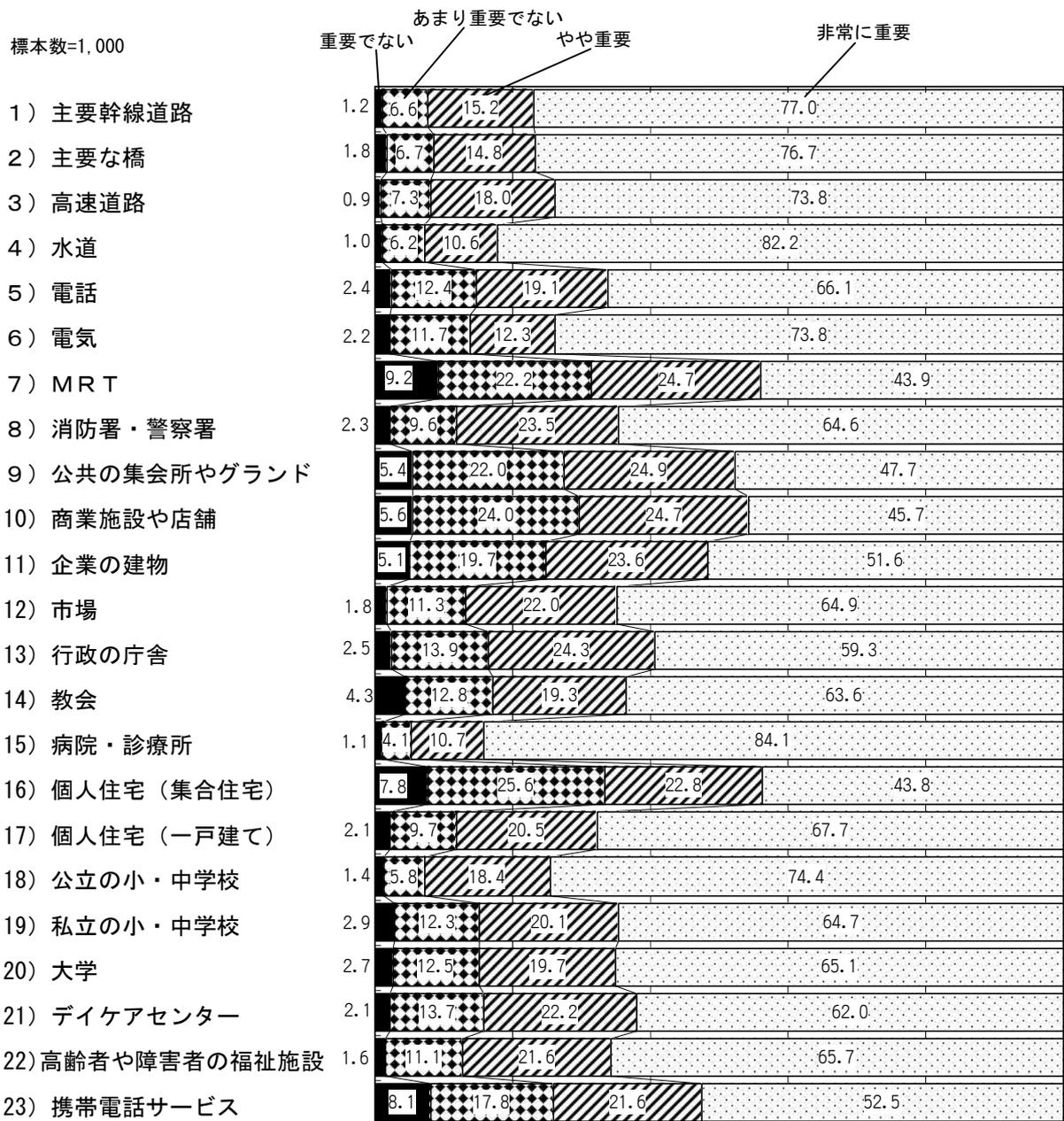
22. 地震に際して守るべき最も重要な3つの施設・機能を上記21. の1)から24)の中から選んで番号をお書きください。



右側の数値及びグラフ(黒)がQ21-A、左側の数値及びグラフ(白)がQ24

- ・ Q21-A) 回答者全員 (n=1,000) に、23の構造物・機能をあげ、地震による機能停止が予想されるものをあげてもらった。その結果、最も多くの人があげたのは「電気」(90.2%)、次いで「電話」、「個人住宅(集合住宅)」でともに85.1%であった。
- ・ Q24) この中から地震に際して守るべき施設・機能を3つまであげてもらった。その結果、最も多くの人があげたのは「病院・診療所」(59.8%)、次いで「水道」(41.6%)、「電気」(32.9%)であった。

21. 強い地震が起こるとさまざまな構造物・機能に被害が発生します。次の1) から23) それぞれの構造物や施設、機能などについて、
 (B) それぞれの構造物や施設が、地震の後にも壊れずに機能し続けることがどの程度重要か、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。



- ・ Q21-B) 回答者全員 (n=1,000) に、23の構造物・機能のそれぞれに地震後も機能を続けることの重要性の程度を尋ねた。
- ・ その結果、最も多くの方が「非常に重要」にあげたのは「病院・診療所」(84.1%)、次いで「水道」(82.2%)、「主要幹線道路」(77.0%)となっている。

23. お住まいの耐震補強についてお尋ねします。

標本数=1,000

① あなたの家を耐震補強するために、いくらまでなら支出してもいいと思いますか。

50,000P以下 55.4% 50,000P超 44.6%

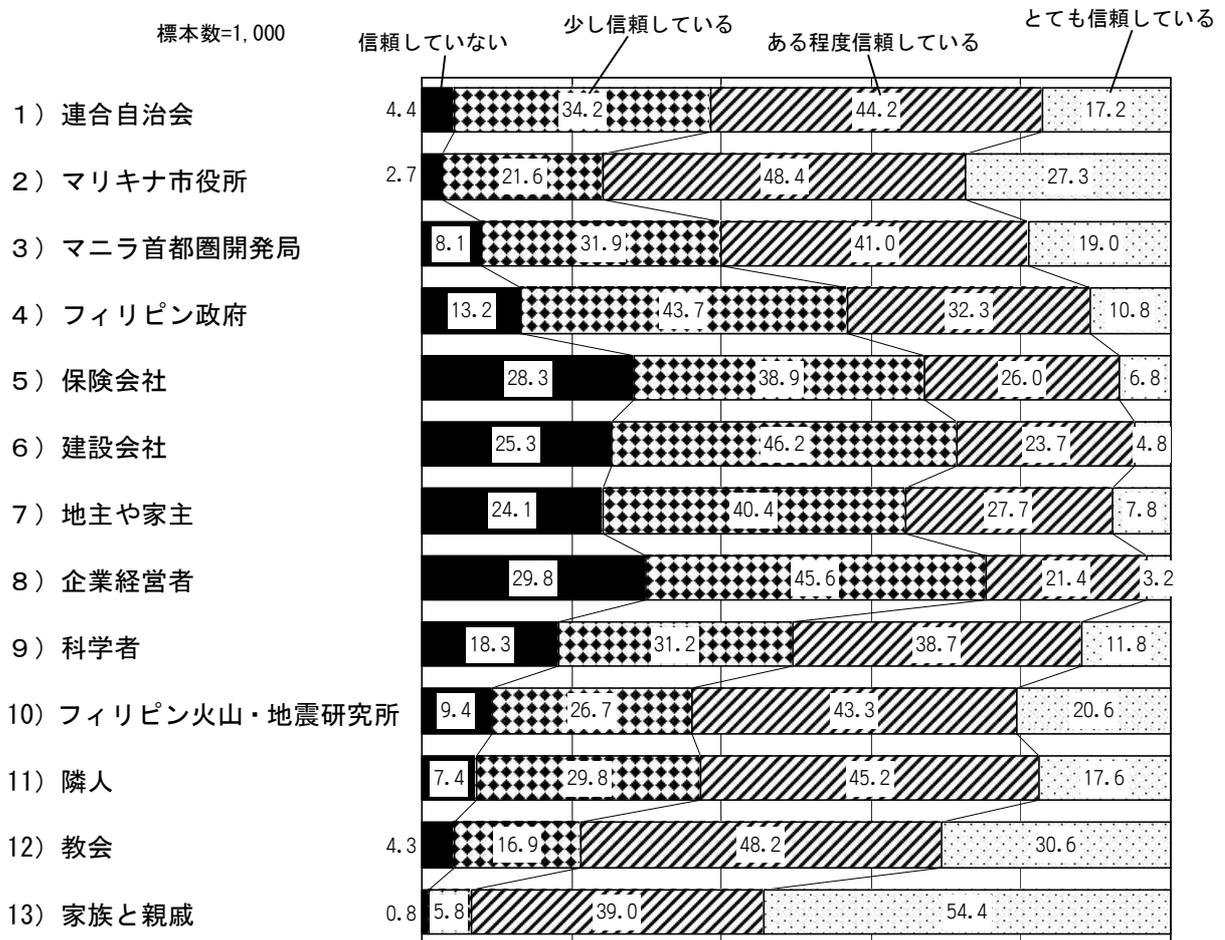
② あなたの家を耐震補強するために、ご自分の時間を何時間位までなら使いますか。

180時間以下 50.0% 180時間超 50.0%

③ あなたの家を耐震補強するために、ご家族や知人の方を何人までなら頼めますか。

2人以下 53.4% 2人超 46.6%

24. 強い地震の被害（例えば火事、建物の倒壊）からあなたの地域社会（コミュニティ）を守ることに
ついて、あなたは次のそれぞれの集団のりびとをどの程度信頼していますか。それぞれ最もあ
てはまる数字を一つ選んで○をつけてください。



・回答者全員（n=1,000）に、13の集団や組織をあげて、それぞれへの信頼の程度を尋ねた。その結果、最も多くの方が「とても信頼している」としてあげたのは「家族と親戚」（54.4%）、次いで「教会」（30.6%）、「マリキナ市役所」（27.3%）となっている。

6. 地域・つながり等に関するまとめ

該当：Q25～Q29

Q25. 近所づきあい → 挨拶10人以下、会話10人以下、相互訪問30人未満

Q26. まちにあるもの → 近所の教会やお寺 (93.9%)

Q27. 市民意識について

- 1位「自分がしてほしいことは他人にもしない」(77.3%)
- 2位「いつ子供に見られても誇れる自分がある」(71.4%)
- 3位「他人の権利を侵さないように気をつける」(70.7%)

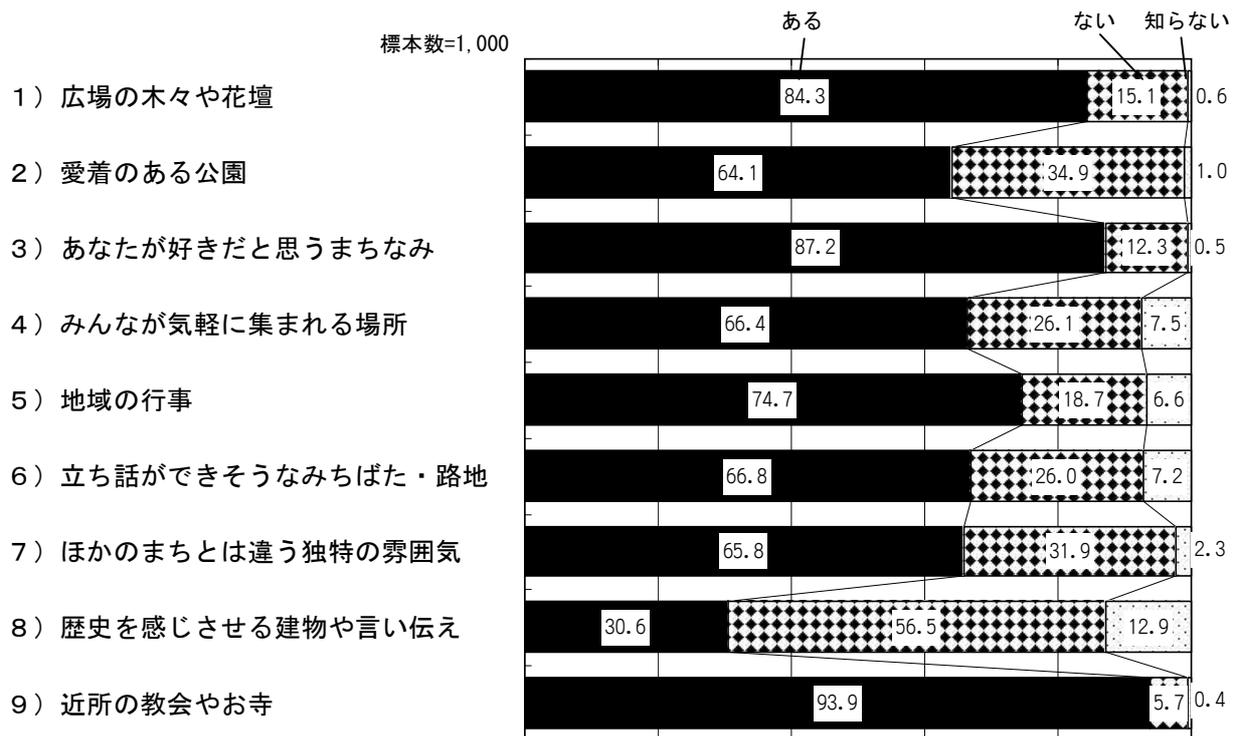
25. あなたとあなたのご近所の人たちとの関係についてお答えください。

標本数=1,000

- ① あなたが普段、挨拶するのはおよそ何人ですか。
10人以下 41.1% 20人以下 24.0% 30人以下 11.2% 31人以上 23.7%
- ② あなたが道端で話をするのはおよそ何人ですか。
4人以下 25.2% 10人以下 34.3% 20人以下 17.7% 21人以上 22.8%
- ③ あなたが互いの家を行き来するご近所づきあいのある人はおよそ何人ですか。
6人以下 26.4% 20人以下 23.6% 30人未満 33.1% 30人以上 16.9%

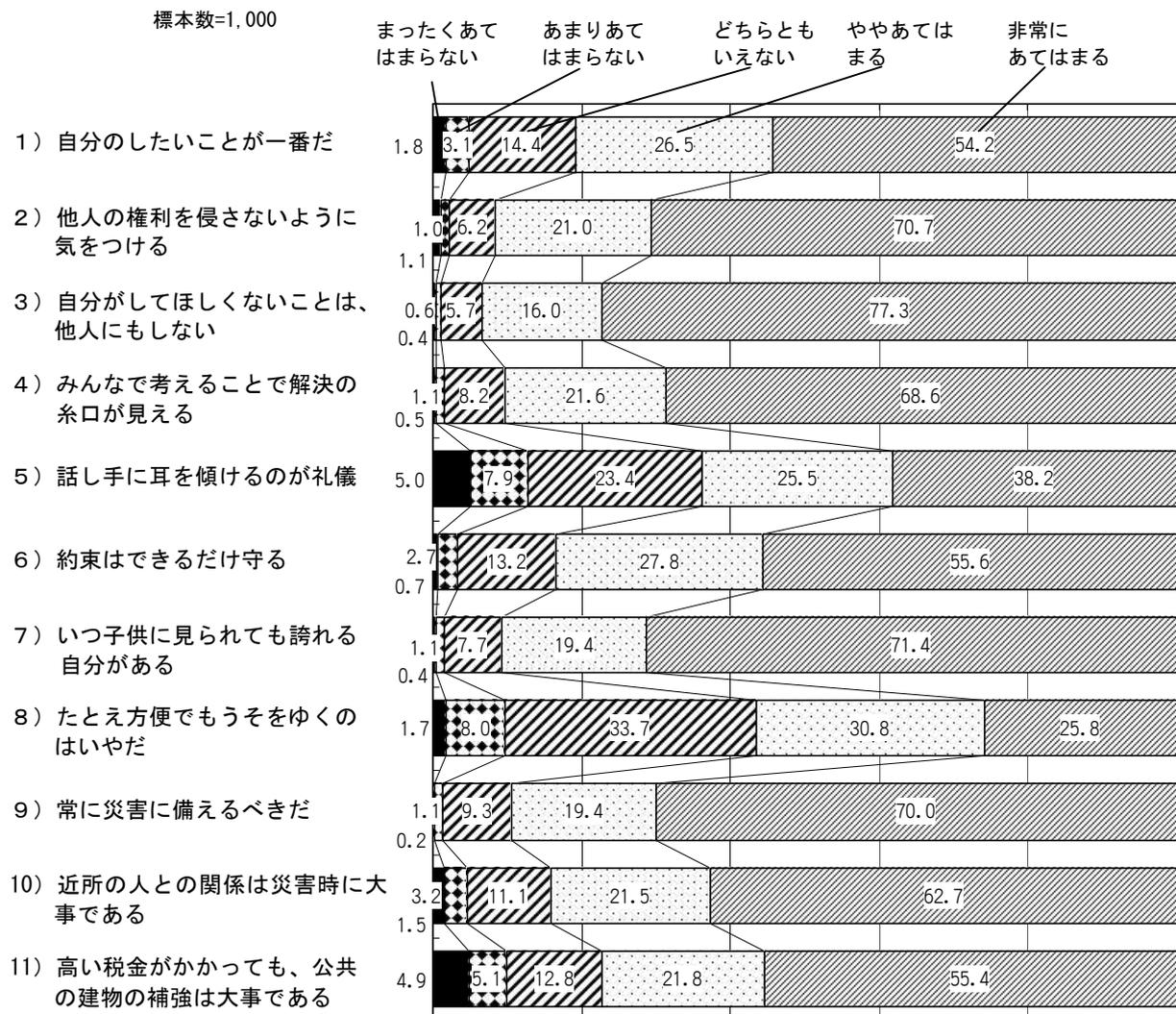
・回答者全員（n=1,000）に、近所づきあいを挨拶・会話・相互訪問の人数で尋ねた。その結果、回答のあった人で最も多かったのは、挨拶では「10人以下」（41.1%）、会話では「10人以下」（34.3%）、相互訪問では「30人未満」（33.1%）であった。

26. あなたの近所（地域）についてお伺いします。以下のそれぞれの項目について、あてはまるものに一つに〇をつけてください。



・回答者全員（n=1,000）に、住んでいる地域の風物や行事を9例あげてそれぞれについての認知状況を尋ねた。その結果、「ある」と答えた人が最も多かったのは、「近所の教会やお寺」（93.9%）、次いで「あなたが好きだと思うまちなみ」（87.2%）、「広場の木々や花壇」（84.3%）となっている。

27. 以下の1) から13) それぞれの項目について、あなた自身とあなたのコミュニティに対する意見に最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。

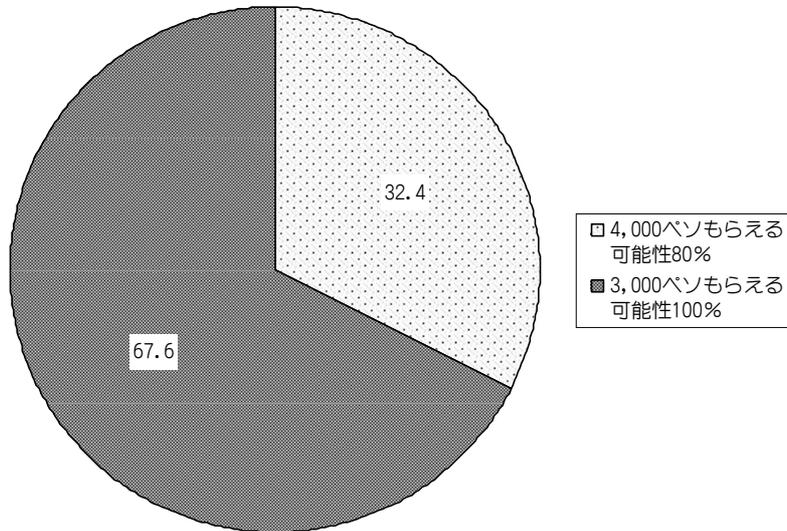


・回答者全員 (n=1,000) に、市民意識に関する11項目をあげてそれぞれ尋ねた。「非常にあてはまる」と答えた人が最も多かったのは、「自分がしてほしいことは他人にもしない」(77.3%)、次いで「いつ子供に見られても誇れる自分がある」(71.4%)、「他人の権利を侵さないように気をつける」(70.7%)となった。

(次の質問は、性格タイプ分けのための質問です。)

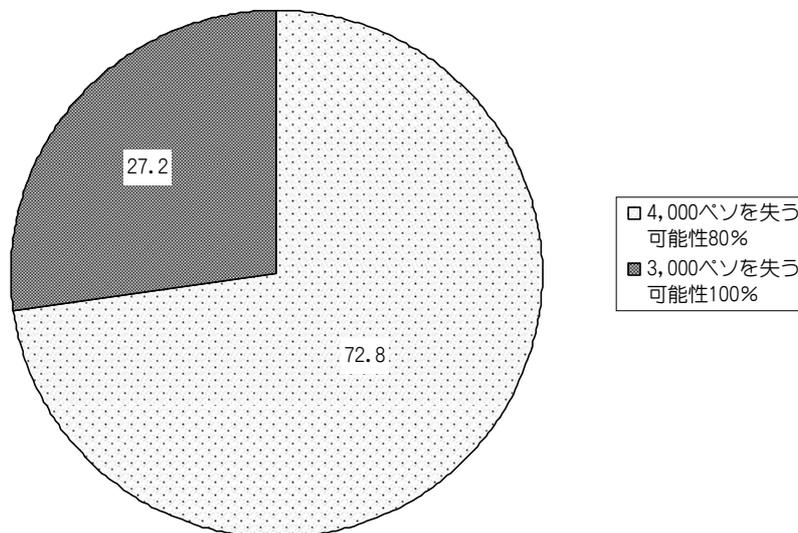
28. あなたは、次の1)か2)を選ばなくてはならない場合、どちらを選びますか。いずれか一方に○をつけてください。

標本数=1,000



29. あなたは、次の1)か2)を選ばなくてはならない場合、どちらを選びますか。いずれか一方に○をつけてください。

標本数=1,000



F1. あなたの性別をお答えください。

n=1,000

1) Male 39.0% 2) Female 61.0%

F2. あなたの年齢をお答えください。

n=1,000

(AV. 40.07) 歳

F3. あなたの最終学歴をお教えください。あてはまる番号に○をつけてください。

n=1,000

1) Never attended school	0.4%
2) Grade School (grades 1-6)	6.0%
3) Some high school but no diploma	6.2%
4) High School diploma or G.E.D	21.9%
5) Vocational school	6.1%
6) Some college	20.3%
7) Bachelors degree	35.8%
8) Masters Degree	1.1%
9) Doctorate or professional degrees	0.7%
10) Currently in college	1.5%

F4. あなたを含めて同居されているご家族は何人ですか。

n=1,000

(AV. 5.54) 人

F5. 上記F4.のうち、18歳以上の方で、あなたを含めて同居されているご家族は何人ですか。

n=1,000

(AV. 3.73) 人

F6. あなたの出身国をお答えください。

n=1,000

()

F7. あなたはマニラ首都圏に何年住んでいますか。

n=1,000

(AV. 29.48) 年

F8. あなたはマリキナ市に何年住んでいますか。

n=1,000

(AV. 23.28) 年

F9. あなたは現在の家に何年住んでいますか。

n=1,000

(AV. 16.66) 年

F10. あなたはマリキナ市のどの地区に住んでいますか。

F11. あなたの世帯でもっとも大きな収入を得ているのはあなたですか。

n=1,000

1) はい 31.4% 2) いいえ 68.6%

F12. あなたの世帯でもっとも大きな収入を得ている方の職業をお教えてください。

n=1,000

1) Office employee (Private)	31.8%	2) Office employee (government)	6.8%
3) Home business (Owner)	4.6%	4) Home business (employee)	3.9%
5) Entrepreneur (Owner)	25.2%	6) Entrepreneur (employee)	9.7%
7) Driver	3.4%	8) Teacher	0.9%
9) Doctor	0.8%	10) Mechanic	0.2%
11) Carpenter	0.2%	12) Self-employed	0.5%
13) OFW	4.3%	14) Architect	0.3%
15) Seaman	1.2%	16) Technician	0.1%
17) Construction worker	1.1%	18) Caretaker	0.1%
19) Teacher (Private)	0.6%	20) Painter	0.1%
21) Engineer	0.4%	22) Lawyer	0.4%
23) Land agent	0.1%	24) Farmer	0.2%
25) Artist	0.2%	26) Nurse	0.1%
27) Electrician	0.2%	28) Dentist	0.2%
29) PBA player	0.1%	30) Photographer	0.1%
31) Pilot	0.1%	32) Retired	2.1%

F13. あなたの世帯でもっとも大きな収入を得ている方の地位をお教えてください。

n=1,000

1) Employed full-time (thirty or more hours per week)	85.2%		
2) Employed part time (less than thirty hours per week)	7.3%		
3) Unemployed	0.9%	4) Retired	6.0%
5) Keeping house	0.2%	6) Student	0.4%

F14. あなたの世帯の1年間の収入はおよそどのくらいですか。あてはまる番号に○をつけてください。

n=1,000

1) Less than PhP 50,000	8.5%	2) PhP 51,000- 100,000	20.8%
3) PhP 100,000- 199,999	31.1%	4) PhP 200,000- 299,999	12.9%
5) PhP 300,000- 399,999	10.4%	6) PhP 400,000- 499,999	5.1%
7) PhP 500,000- 599,999	2.2%	8) PhP 600,000- 699,999	2.2%
9) PhP 700,000- 799,999	1.1%	10) PhP 800,000- 899,999	0.7%
11) PhP 900,000- 999,999	0.4%	12) PhP 1,000,000 or more	3.6%

F15. 現在のお住まいについてお伺いします。

n=1,000

①あなたのお住まいは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1) An apartment or condominium(Rent)	12.8%
2) An apartment or condominium(Own)	4.4%
3) A single family house(Rent)	12.4%
4) A single family house(Own)	54.5%
5) A duplex(Rent)	1.0%
6) A duplex(Own)	5.3%
7) Compound(Rent)	2.5%
8) Compound(Own)	6.0%
9) One-room/Studio-type(Rent)	0.1%
10) Office space(Rent)	0.5%
11) Office space(Own)	0.4%
12) Institutional(Rent)	0.1%

②そのお住まいの構造は、どのようなものですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1) Reinforced concrete	58.0%
→ (AV. Number of story	1.52) 階
→ (AV. Average number of occupants	
Morning	4.30) 人
Afternoon	4.25) 人
Evening	5.95) 人
2) Mixed concrete and wood	37.3%
→ (AV. Number of story	1.52) 階
→ (AV. Average number of occupants	
Morning	4.66) 人
Afternoon	4.73) 人
Evening	6.14) 人
3) Wood/Indigenous materials(bamboos, etc)	2.8%
→ (AV. Number of story	1.21) 階
→ (AV. Average number of occupants	
Morning	4.79) 人
Afternoon	4.86) 人
Evening	7.29) 人
4) Substandard construction materials	1.9%
→ (AV. Number of story	1.32) 階
→ (AV. Average number of occupants	
Morning	5.89) 人
Afternoon	6.16) 人
Evening	7.11) 人